

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年十二月十三日発行（毎月一回十三日発行）
定価 五〇〇円

第999号

龍

跳

春季昇段・級試験課題発表表

第八十一卷

1
月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書

壽

似
居
心
下
一
載
秀
如
法
海
萬
年
清

壽似春山千載秀。(壽)如滄海万年清

擬山園帖第一

王 鐸

玉書過箕山齋同
 魯齊彥甫鳴諧和
 歌吹簫調絃天氣不
 嚴沍解衣裝磚日
 薄牙莫興趣勃然
 書數綾幅頗不惡
 何也有媿姬粲集

玉書過箕山齋。同

魯齊彥甫鳴諧和

歌吹簫調絃。天氣不(氣)

嚴沍解衣裝磚。日(鑿)

薄牙莫興趣勃然(興)

書數綾幅。頗不惡

何也有媿姬粲集

ぎざんえんちよう
擬山園帖第一

おう たく
王 鐸

王鐸(二五九二―二六五二)は河南孟津の人。字は覺斯、齋号を擬山園などと称した。天啓二年(一六二三)三十一歳で進士に合格。文辞に巧みであったので、庶吉士・翰林院編集を授けられた。

書は晋唐の古法帖、とりわけ王羲之・献之父子を法とし、原帖を手掛かりとして表現の上に独自の工夫を重ね、情熱や意気そのままに激しい筆を紙本(紙面)に走らせた。「この書卷は」運筆が確かであり、氣迫充実した風格を示している。王鐸学習にはこのうえない法書である。

石川 美水 書

勸君金屈卮滿酌不須辭花發多風雨人生足別離

勸君金屈卮
滿酌不須辭
花發多風雨
人生足別離

美水書

大八木 洋女 書

初夜之秋
菊能軍二月
花道
以千一
只浪入叶
美水書

洋女書

梅川桂龍書

正 風
值 時
秋

正まさに秋風しゅうふうの時にあ値あう

梅川桂龍書

天清
一
鴈遠

天清くして一雁いちがん遠く

福 原 曉 雲 書

物 忘 我 無 心

機を忘れ物我無し

福原曉雲臨

嚴
盪
解
衣
槃

嚴盪解衣槃

江西澄翠書

恭正助易般不生
心散助和事不怒

江西澄翠書

浜崎洋堂臨

二謝面未比面遲詠
良不靜美之女

洋堂臨

西山極山臨

一昨以躬念多、父子之軍破
犬羊先逆之眾衆

荅心臨

岡林邦心臨

有皎々人瓊衣玉為餌
位維列仙長胸子興

邦心臨

皆有茅威以剛長幼
故得拜倫敘而

東長行

野中恵花

之以心云以事予勢
吾望刃於法可

江守

大原桂園

大成松尾 貞孝空威 淨人

空威

三指台基子 圓通大空

重子作

門田恵子

此道吾誤自微下奔
竟尤能表又深

市原

市原處帥

玉書過箕山齋同曹
愈差甫鴻諧和

紅子

水田紅子

我金蘭及室山集會
一處量高仙法大

美峰

中平美峰

周為何道此即竹枝
白尊長或法大

容舟

河村容舟

書墨依今宜人視之
美氏未必何之

美佐

別役美佐

少教願旨不換庸陳邪動心
尚度是弘法法之風規

志津

川崎志津

尤介眾之中不欲顯
過今先興道之

淳

大井 淳

条幅当選作品 福原 曉 雲 選評

★天位

野中恵花君 〓大胆で、力強い作品。

大原桂園君 〓十七帖の臨、生氣ありて線が強く明るい作品。

門田恵子君 〓灌頂記を旨く臨し、流れ良し。

市原處艸君 〓筆圧は利かしてはいるが、動きが堅いというか線が堅い。

水田紅子君 〓擬山園帖リズム良く、書き流している。

★地位

中平美峰君 〓線は強いが規模小なり。文字間の生かし方を研究の事。

河村容舟君 〓大らかな作品ですが柔軟さも欲しいです。別役美佐君 〓書譜臨、新鮮さあり。落款をもう少し研究のこと。

★人位

川崎志津君 〓文字の動きは非常に良い。筆もよく熟れています。これに文字の大小、墨量の潤

渴を研究して下さい。落款小さく左へ。

大井淳君 〓争座位臨、筆力はある。原本を見て研究を要します。落款もね！

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

12月の審査は22日(日曜)午後1時に開始します。審査終了後、忘年会を行います。

場 所 高知城ホール

☆新年試筆作品締切りも当日です。出品料は5,000円です。

人類の幸福

冬休

期暇

交文

流化

小学五年課題

隅田 亘心 書

の初

出日

のう
花め

1月20日締切

小学三年課題
大原桂園書

きげ

ん

1月20日締切

ついで

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋女 書

一三ま

1月20日縮切

学校名										
六年										
級段										
氏名										
私たちは、生活の中で、場 面に応じて言葉をを選んで使 分けています。話す内容が同 じであっても、目上の人に対 して話すようなどは、それ に応じて言葉を使います。										

学校名																				
五年																				
級段																				
氏名																				

学校名	勝利を喜び合っ ています。	人たちが一 体となっ て	は、選 手とお うえん した	たチー ムのお うえん 席で	を 見 て み ま し よ う う 。勝 っ	試 合 終 了 直 後 の シ ー ン
四年						
級段 氏名						

学校名	が	か	び	わ	と	
	聞	げ	ま	ざ		ふ
	こ	か	し	と	三	と
三年	え	ら	た	ひ	年	ん
	て			っ	と	か
級段	き	お	ぬ	く	う	ら
氏名	ま	も	る	り	げ	は
	し	し	で	返	に	ね
	た	ろ	の	り	行	起
		い	木		き	き
		歌	の	転		る

がっこう	く	色	て	た	
	り	の		い	ア
二ねん	す	ス	お	い	イ
きゆう	す	カ	か	け	ロ
なまえ	む	ー	あ	む	ン
		ト	さ	り	っ
		を	ん	を	て
		ゆ	の	出	船
		っ	水	し	み

がっこう	く	ち	の	
	ら	が		小
一	し	が	き	さ
ねん	て	た	よ	な
だ きゆう ん		の	う	
なまえ	い	し	だ	さ
	た	く	い	か
	。		た	な

がっこう				
ほ	あ	さ	ふ	き
ねん	さ	む	い	た
	で	い	て	か
だ	す			せ
きゆう	。	さ		が
なまえ		む		
		い		

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題 (王維「雜詩」)

君自故郷來 應知故郷事

來日綺窗前 寒梅着花未

君は故郷より来る／応に故郷の事を知るべし／來りし日 綺窓の前の
／寒梅は花を着けしや未だなりや

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ王鐸
擬山園帖第一、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。

。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

草暖雲昏萬里春 宮花拂面送行人

草は暖かく雲は昏し 万里の春／宮花 面を払って行人を送る

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ王鐸
擬山園帖第一、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。

。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

萬事皆如夢

万事 皆 夢の如し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。

。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳一月号(一月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

△作品の締切

令和七年二月二十七日(木) 必着のこと。

△審査日時

令和七年三月二日(日) 午前九時三十分より

△審査場所

未定

△受験作品送付先

千七三三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

注 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

張翰江
張翰江
張翰江
張翰江

東去
東去
東去
東去

皇華

存男

美山

ちか

張翰江
張翰江
張翰江
張翰江

東去
東去
東去
東去

美花

聖奈

美柳

紀美子

張翰江
張翰江
張翰江
張翰江

東去
東去
東去
東去

清海

美祝

律子

千賀生

張翰江
張翰江
張翰江
張翰江

東去
東去
東去
東去

吾采

奈華

美草

奈代

張翰江
張翰江
張翰江
張翰江

東去
東去
東去
東去

智子

奈水

美香

美知子

(一・二段目) 岡崎緑水 選評
里華君 〓 厳しさの中にも線に余裕があり、安定した作。

恵花君 〓 気脈貫通し堅実な書きぶり佳。

澄翠君 〓 几帳面な線質で強い。花梢君 〓 練度高く堅実な作。

智子君 〓 澄んだ線で安定感のある作。喜泉君 〓 丸い線の中に雅味あり品位を感じる。

(二・三段目) 廣末幽念 選評
理奈君 〓 伸びやかに澄んだ線で明る

真理君 〓 いみみなく良くまとめている。康華君 〓 強い線で活力を感じる。

紫秋君 〓 線良く伸びてバランスもよい。薰山君 〓 落ちついてよくまとめている。

(三・四段目) 塚地桂峰 選評
美邦君 〓 真面目な作。良くまとまっ

律子君 〓 堂々とした作品。美草君 〓 線丸く味わいあり、堂々とした作。

美香君 〓 線ののび良く力強い。知加君 〓 字々大きく筆力ある作。

紀美子君 〓 力強い作。(四段目) 武内美仁 選評
千賀君 〓 筆が良く立ち、紙面構成も

香代君 〓 ゆつたりと五字が納まって余裕の作。美知子君 〓 線はよく伸びて、バランスもよい。

張翮江
東杏 張翮江
六時

居隴西
或家 行字

嫩姬
粲集 榮秋

暮返
光浮 村忠

同曾空
老甫 行心

者以其
有像也 怡遠

四時無
形潛 律子

不差豪
髮先帝 即美

二丰舉
孝廉除 即本

同曾空
老甫 即本

同曾空
老甫 即本

同曾空
老甫 即本

一心斯
有恒 牛八

当争
今得 活法

維貞觀
六年益 隆光

一心斯
有恒 長元

經輕万
金而重 中子

隆以
粗信 即代

一心斯
有恒 美香

健成
安良 千賀

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
澄翠君 一幅としてのまとまり、落款も調和している。

邦心君 力振りながら線に勢いあり。羽花君 力みもなく静寂の中から強さもある。

竹山君 リズムが安定し、まとまり良し。

恵子君 流れ良く、健康的な作。仁子君 文字墨量の変化に富み、見ごたえあり。

(二・三段目) 前田秀華 選評
悠道君 無心の臨書、落款をもう少し小さく。

理奈君 無理なく筆が伸びています。淳君 墨色良く、自然な連筆で好感のもてる臨。

輝代君 四文字を流れ良く、臨している。

紫秋君 鋒を吊って素直な作。(三・四段目) 野島桂山 選評
律子君 温かな線質で明るい作。倫子君 いていねいに臨して好感がもてる。

隆光君 気負なく温かな作。美香君 伸び伸びとして作品に変化あつて面白い。

利恵君 無理なく筆が伸びている。明美君 運筆が素直で線質もよい。(四段目) 大八洋女 選評
志津君 線の動きに心地好さを感じます。

香代君 意気込み有り。千賀君 リズム良く書かれています。思います。

六年 神岡 風彦 世界 平和	新近 生 鶴 世界 平和	六年 森光陽 美 世界 平和	五年 彦 乙 明 生活 式様	新近 生 鶴 金山 紅葉	初三年 東海 四 金山 紅葉
上小 下五 森原 正 月光 の曲	五年 大城 リナ 月光 の曲	五年 晴 賢 士 世界 平和	上小 六年 朝比奈 五 早 世界 平和	六年 二 志 高 子 世界 平和	六年 二 志 高 子 世界 平和
上小 下五 森原 正 月光 の曲	五年 松田 美乃 月光 の曲	五年 大 村 三 郎 月光 の曲	五年 宮 間 浩 月光 の曲	五年 宮 間 浩 月光 の曲	五年 松田 美乃 月光 の曲
四年 西村 朝陽 文 日化	長田 小 四年 森田 実 夫 文 日化	五年 後 藤 樹 月光 の曲	同量 五年 中 國 こ ころ 月光 の曲	同量 小 五年 田 所 節 月光 の曲	五年 竹 内 忠 二 月光 の曲

(二段目) 中部部
 岡林邦心 選評

風 君 筆使いも良く明るい作。
 菜奈君 筆使いも良く書いて良い。

乙羽君 良く書いていますが「活」の一角目を少し下に書くとうまい。

(一・二段目) 小学六年
 西山極山 選評

陽菜君 本文、名前共、よく書いています。
 綜 君 筆使いも良く書いています。

風佳君 一字一字ていねいに書いています。
 かな子君 ゆつたりとのびやかに書いています。

仁貴君 のびやかな線で安定しています。
 来夢君 どのつしりと落ちついた作品です。

晴士君 ていねいに書いています。この調子でがんばって。

(二・三・四段目) 小学五年
 中平美峰 選評

リサ君 のびやかに書いています。
 百叶君 上手です。これからも頑張ってください。

菜乃君 堂々と書きました。
 改太君 しっかりと書いています。曲のたて線を工夫してみて。

核心君 のびのびと書きました。「光」の右払いを気をつけて。

さくら子君 元気に書いています。
 天牙君 「の」が元気よく書きました。

稀衣君 強い線です。これからはがんばりましょう。
 ひなこ君 元気に書きました。もう少しゆつくり。

萌羽君 じめじめに書きました。
 ころ君 元気良く書いています。

樹 君 ていねいに書きました。名前が上手。
 (四段目) 小学四年
 深瀬緑堂 選評

実咲君 明るく良くまとまっている。
 朝陽君 素直で明るい。

の文
日化
山里

山里
しはや
しはや

の文
日化
山里

しはや
しはや

の文
日化
山里

しはや
しはや

の文
日化
山里

しはや
しはや

の文
日化
山里

しはや
しはや

の文
日化
山里

しはや
しはや

(一・二段目) 小学四年
蒼來君||力強く落ちついている。頑張つて書いて下さ

美緒音君||まじめに良くまとめているが最後まで息長

健悟君||落ち着いて安定感がある。
莉李君||しっかりとした筆使いで明るい。
太緒君||良く書けているが、もう少し元気良く。
明利君||頑張つて書けましたが、ゆつくりと大きく書

いて下さい。
(二・三段目) 小学三年
香花君||のびやかにしっかりと書けました。
芳尚君||力強く堂々と書けています。
紗雪君||力強く伸びやか。
息吹君||明るくまじめな作品。
朋希君||堂々として線も強い。
治太君||でいねいにまとまっています。
郁菜君||大らかによく書けています。

(三・四段目) 小学二年
涼 君||形もよく元気に書けました。 佐々木港花 選評
はるか君||おちついてかけました。
かほ君||元気にかいています。
心花君||よくかけました。
みのり君||形もよくおちついて書いています。
昇冨君||元気です。特に「し」はすばらしい。
時生君||これからは頑張つて下さい。

(四段目) 小学二年・ようちほい
のぞみ君||すなおにじょうずにかけています。
ゆま君||かたちよくげんぎにかけています。
こな君||あかるくよくかけています。
あおい君||おちついてよくかけています。

河村容舟 選評

硬 筆 優 秀 作 品

浦ノ内 矢野 蒼真
多ノ郷 森光 陽菜

世界中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのような戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。

浦ノ内 六 特選 矢野 蒼真

世界中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのような戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。

多ノ郷 六 特選 森 光 陽 菜

世界中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのような戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。

久礼 六 特選 渾田 奏

世界中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのような戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。

越知 六 特選 大原 瑠心

大谷北 大木 柚杏
上分 梅原 百叶

世界中で少なくとも五千万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の後、二度とこのような戦争を起こさないために世界の国々が集まって、国連は作られました。

大谷北 六 特選 大木 柚杏

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。

上分 五 特選 梅原 百叶

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。

多ノ郷 五 特選 大城 リサ

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることもなった。

須崎 五 特選 松田 菜乃

長岡 北村さくら子
岡豊 中司 こころ

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。

長岡 五 特選 北村 さくら子

五兵衛のすぐれた決断と行動は、読み手の心に大きな感動をよび起こしたが、同時に津波のこわさや、すばやく高い所へにげることの必要性を教えることにもなった。

岡豊 小五 特選 中司 こころ

おかげさまで「地元の和紙作り」の発表を行うことができました。西山さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。

小高坂 四 特選 川西 康介

おかげさまで「地元の和紙作り」の発表を行うことができました。西山さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。

久礼 小四 特選 小高坂 四 特選 川西 康介

馬路 木下 歌乃
大谷北 大木 陽智

おかげさまで「地元の和紙作り」の発表を行うことができました。西山さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。

馬路 四 特選 木下 歌乃

おかげさまで「地元の和紙作り」の発表を行うことができました。西山さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。

大谷北 四 特選 大木 陽智

おかげさまで「地元の和紙作り」の発表を行うことができました。西山さんに協力していただいたアンケート結果も、表にまとめて発表しました。

池川 小四 特選 池川 日和

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをまぜたものを用意します。それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。

須崎 三 特選 池川 日和

池川 北村 日和
須崎 毛利 香花

硬 筆 優 秀 作 品

岡豊 島村 心遙
上ノ加江 片山ひまり

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをませたものを用意します。それとしおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。

岡豊 小三三三 島村心遙

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをませたものを用意します。それとしおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。

上ノ加江 小三三三 片山ひまり

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをませたものを用意します。それとしおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。

久礼 二二 初瀬 黒原 小香

みそを作るには、むした米か麦にコウジカビをませたものを用意します。それとしおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。

久礼 三三 浮村 郁菜

久礼 黒原小香
長岡 澤村郁菜

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

すさき 二二 金堂 涼

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

上分 二二 吉村はるか

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

久礼 二二 初瀬 黒原 小香

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

久礼 二二 初瀬 黒原 小香

あそく たかはしいぶき
久礼 くら原 りか

おそう 島村 昇冨
あそく まつさかのぞみ

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

おそう 二二 島村 昇冨

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

あそく 二二 まつさかのぞみ

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

あそく 二二 まつさかのぞみ

二年生に なって から これまでに 心に のこった て きごころを みんなの 前で 話しましょう。

あそく 二二 まつさかのぞみ

あそく うめばら ゆま
おおのこう さかもとみさき

うらノ内 中平 ゆう大
ふぞく えがしらこう

しょうぼうてい は、ふねの火じを けす。ための ふねです。

うらノ内 二二 中平 ゆう大

しょうぼうてい は、ふねの火じを けす。ための ふねです。

ふぞく 二二 えがしらこう

しょうぼうてい は、ふねの火じを けす。ための ふねです。

ふぞく 二二 えがしらこう

しょうぼうてい は、ふねの火じを けす。ための ふねです。

ふぞく 二二 えがしらこう

かみぶん なかじまゆいと
すさき こんどう こな

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随 意

審査 梅川 桂龍

★師範

江西澄翠 岡林羽心 萩野羽花 岩河里華 大原桂園 弘田賀峰 野中恵花 深瀬緑堂 奥堂皓月 河村容舟 水田紅子 矢野峰臣 浜崎洋堂 西平美峰 中山極山 市原處艸

★準師範

岩崎竹山 門田恵子 西内仁子 藤原朱鳳 小野山美喜 大崎紫陽 松浦明子 大平圭子 吉田深美 森光望春

審査

★六段

橋本祝子 窪田碧泉 山西春草 高橋桜芳 戸田孝北 山中紅風 氏原美泉 田村和子 横山桂華 岡田雄山 丸田宏子 井口花道 高橋朱鳥 小笠原廣峰 西川芳香 山川百合 池川千晶 桑原智子 別役美佐 鎌倉春葉 山本恵歩 平井桂草

前田 秀華

★五段

大井 淳 鈴木輝代 濱田幸子 笠原多嘉

★四段

横田紫秋 濱田順子 山崎隆志 中澤英子 西岡仁陽 高橋翠園 濱 恵子 岡本薫山

審査

★三段

野島 桂山 品原律子 坪内倫子

★二段

林 隆光

★初段

市川美香 松島利恵 西尾明美 川下久美 山本 房 前田伸枝

第894回毛筆成績

○印は昇級

中学部

審査 岡林 邦心

三年

★特待生

朝ヶ丘 黄之瀬風

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田茉奈

一年

★八段

池川 藤原乙羽

小学部

毛筆六年

審査 西山 極山

★特待生

多ノ郷 森光陽菜 新庄 鍋島 綜

★九段

長岡 押岡風佳

★八段

長岡 二宮嘉奈子 長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢

★初段

附属 三本晴士

毛筆五年

審査 中平 美峰

★九段

多ノ郷 大城リサ

★八段

上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃

★七段

長岡 宮脇改太 須崎 谷口桜心 上分 小松希美 池川 鶴井香月

★六段

長岡北村さくら子 多ノ郷 橋田天冴 岡豊 島村倅空

★五段

上分 柳本稀衣 上分 竹内陽南子 長岡 田邊璃音 須崎 田村拓海

(出品票)

のり代

7年
1月
幅

氏


名

臨書は出典名

<p>★四段 岡豊 田所萌羽 吾桑 梅原蒼菜</p> <p>★三段 岡豊 中司こころ</p> <p>★二段 別府 後藤 樹</p> <p>毛筆四年</p> <p>★八段 審査 深瀬 緑堂</p> <p>長岡 森田実咲</p> <p>★七段 小高坂 川西康介</p> <p>★六段 夜須 西村朝陽</p> <p>★五段 吾桑 高橋蒼來 吾桑 松坂美緒音 佐古 田村健悟 須崎 津野聖佳 須崎 金堂莉李 馬路 小松太郎</p>	<p>★二段 長岡 西内明利 長岡 小笠原湊 夜須 清藤 蘭</p> <p>★三段 上分 中山結愛</p> <p>毛筆三年</p> <p>★六段 審査 奥堂 皓月</p> <p>須崎 毛利香花 須南 西村太希</p> <p>★五段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪</p> <p>★四段 上分 梅原未來</p> <p>★三段 長岡 押岡息吹 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遙 長岡 竹内伽菜心</p>	<p>★二段 長岡 宮脇治太 多ノ郷 森光梨衣奈</p> <p>★初段 吾桑 長山優奈 越知 藤崎華乃</p> <p>★三段 長岡 ○澤村かな</p> <p>★八級 夜須 白石一華 夜須 白石一莉</p> <p>もうひつ二年</p> <p>★四段 審査 佐々木港花</p> <p>須崎 金堂 涼</p> <p>★三段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎</p> <p>★二段 多ノ郷 橋田かほ</p>	<p>しんじょう 中じまあやと 高橋依吹</p> <p>★初段 朝倉 根口心花 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇冴</p> <p>★一級 須崎 谷口きずな 馬路 小松時生</p> <p>もうひつ一年</p> <p>★二段 審査 河村 容舟</p> <p>吾桑 松坂望未</p> <p>★二級 吾桑 ○梅原由菜</p> <p>★七級 岡豊 ○おぎかお</p>	<p>もうひつ ようち・ほいく</p> <p>★初段 上分 なかじまゆいと</p> <p>★一級 須崎 こんどうこな</p> <p>★二級 ふたば○後藤和葉</p> <p>★四級 池川 鶴井遥都</p> <p>★新規 九級編入 野田まつぎあおい</p>	<p>第693回 硬筆成績</p> <p>○印は昇級</p> <p>こうひつ 硬筆六年</p> <p>審査 森本 寿山</p> <p>★特待生</p> <p>浦ノ内 矢野蒼真 多ノ郷 森光陽菜 新莊 鍋島 緑</p> <p>★九段 久礼 濱田 奏 長岡 押岡風佳</p> <p>★八段 長岡 高芝仁貴 馬路 牛窓環菜 上分 朝比奈奈夢</p> <p>★七段 越知 大原溜心 長岡 二宮嘉奈子 藤沢 駒崎愛恵</p>	<p>★五段 南 西山あい</p> <p>★四段 大谷北 大木柚杏 須崎 川西桜空 大谷北 山崎流依 城東 持田和花 須崎 浅野蒼空 馬路 浅野由梨</p> <p>★初段 附属 三本晴士</p> <p>★九段 上分 梅原百叶 多ノ郷 大城リサ 多ノ郷 松浦結菜</p>
---	--	---	---	--	---	--

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	のり代																																								
7年1月定規	7年1月定規																																								
地名	地名																																								
氏名	氏名																																								
段級	段級																																								
のり代	のり代																																								
7年1月随意	7年1月随意																																								
臨は出典名	臨は出典名																																								
氏名	氏名																																								
段級	段級																																								
級	級																																								
★八段	須崎 松田菜乃 上分 小松希美	★七段	長岡北村さくら子 長岡宮脇改太 浦ノ内 宮脇太 浦ノ内 宮脇太 浦ノ内 美島希以花 久礼 森田栄 虹 久礼 窪田菜優 須崎 山口桜心 長岡 竹内陽南子	★六段	浦ノ内 森田 葵 上分 田邊璃音 越知 片岡杏璃 多ノ郷 橋田天呀	★五段	浦ノ内 山本彩喜 須崎 田村拓海 上分 政岡桃加 吾桑 梅原蒼茉 上分 柳本稀衣	★四段	潮見 須賀勇介 浦ノ内久 岩田健介 浦ノ内久 岩田健介 岡豊 島村倅空	★八段	岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽	★七段	別府 後藤 樹 藤沢 駒崎信慈	★二段	吾桑 ○堅田有咲	★二段	須崎 菅原 處艸 長岡 森田実咲	★七段	小高坂 川西康介	★三段	須崎 菅原 處艸 長岡 森田実咲	★二段	大谷北 大木陽智 長岡 西内明利 長岡 小笠原湊	★初段	池川 北村日和 池川 片岡亜季 越知 大原ほのか	★二段	奈路 ○植野 新 久礼 ○西村波琉	★四級	長岡 ○溝淵蒼功 上分 ○中山結愛	★四級	須崎 毛利香花 浦ノ内 正木芳尚	★六段	須崎 田村紗雪 須南 西村太希	★五段	須崎 田村紗雪 須南 西村太希	★四段	浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 ○森田海音	★二段	多ノ郷 森光梨衣奈 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 長岡 宮脇治太 長岡 押岡息吹 久礼 藏下夏愛	★初段	上分 片山ひまり 久礼 松山愛凛 久礼 松山愛凛 上分 吉原綾人 久礼 日林ゆあ 長岡 猪野光騎 吾桑 長山優奈
硬筆四年	硬筆三年																																								

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
 書道用具萬般乞来店
 (株)  齋
 高知市南宝永町14-18
 TEL (代) (882) 1394番
 夜間・TEL (882) 1392番

長岡 安井 颯 池川 下谷ことは 池川 上村心晴 池川 伊藤日向 久礼 政岡有美 久礼 北村心暖 岡豊 中司みのり 池川 片岡紗雪	★初段 朝倉 根口心花 かも 山岡みずき 中じまやと	★二段 久礼 黒原りか 浦ノ内 岡林ゆい花 浦ノ内 徳永隼斗 しんじょう	多ノ郷 橋田かほ 多ノ郷 森光連太郎 吾桑 高橋依吹 上分 吉村はるか	★三段 須崎 金堂 涼	小川 理香 審査 小川	こうひつ二年
大谷北○倉持百花 ★九級	馬路 木下魁人 久礼○加茂みやび 久礼 大内ゆずの 久礼 岩瀬 渉 久礼 近藤みのり	★四級 久礼 ○小林なほ 上加 大内ゆずの 久礼 岩瀬 渉 久礼 近藤みのり	須崎 谷口きずな	長岡金堂こうすけ ★二級 岡豊 島村昇牙 上加 政岡そうし 奈路 植野 葵 吾桑 鈴木 花 上加 木村ひらと	★一級	城東 ○丸山颯士 ★新規 十級編入 長岡 大塚もも
久礼もりおかべに ★三級	浦ノ内 中平ゆう大 附属 江頭 航 浦ノ内 宮田いと	★初段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内 吉岡まひろ	吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由業	ころひつ一年 審査 石川 美水 ★三段	★十級	浦ノ内 ○てら内かのん 久礼○なるかなえ 佐川 ○井上めい 高岡○隅田しゅう ★九級
野田まつぎあおい 十級編入 ★新規	おひさま森光莉菜	久礼 坂本美咲 浦ノ内 吉岡まひろ	吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由業	ころひつ一年 審査 石川 美水 ★三段	★六級	ころひつ ようち・ほいく 審査 石川 美水 ★初段

中国文房四宝
 国産書道用品
 久保田号銘筆

有限会社 **尚筆堂**

〒780-0818 高知市宝永町3-3
 TEL (088) 882-1454
 FAX (088) 884-7413

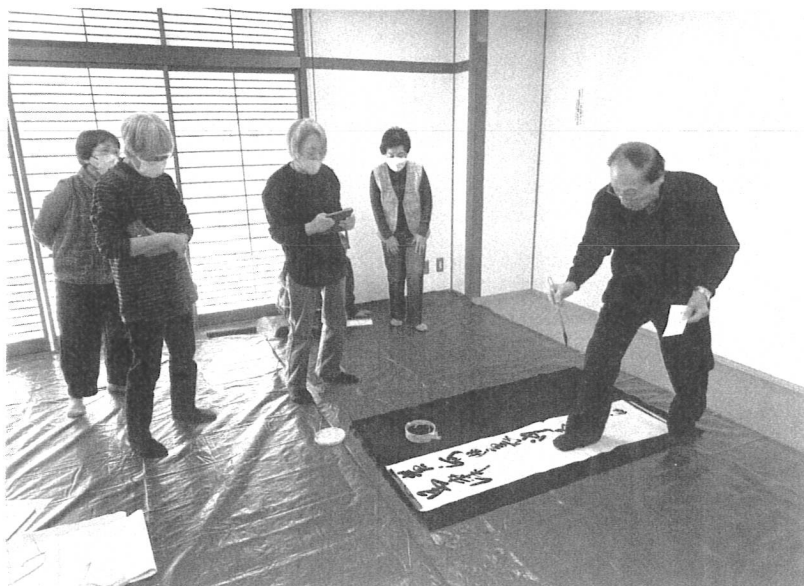
(出品票)

のり代

7年
1月
毛筆

校
名

条幅作勉強会風景



保
年

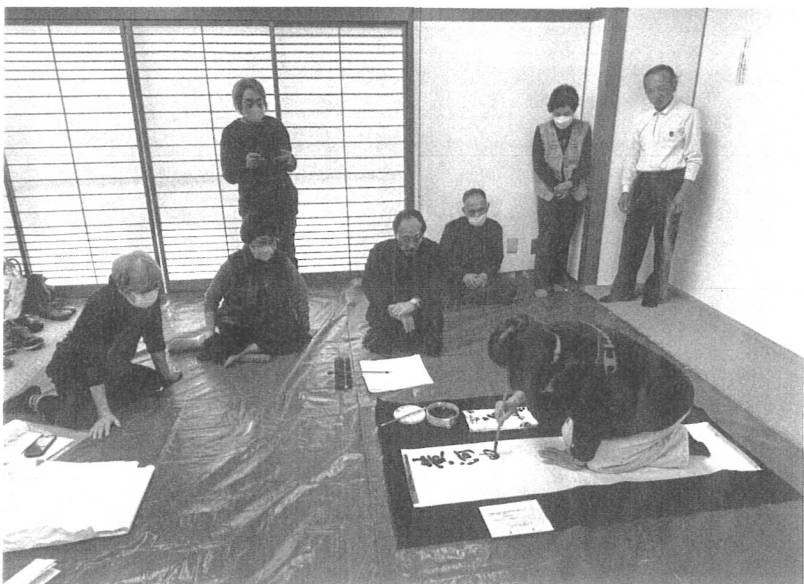
氏
名

段
級

のり代

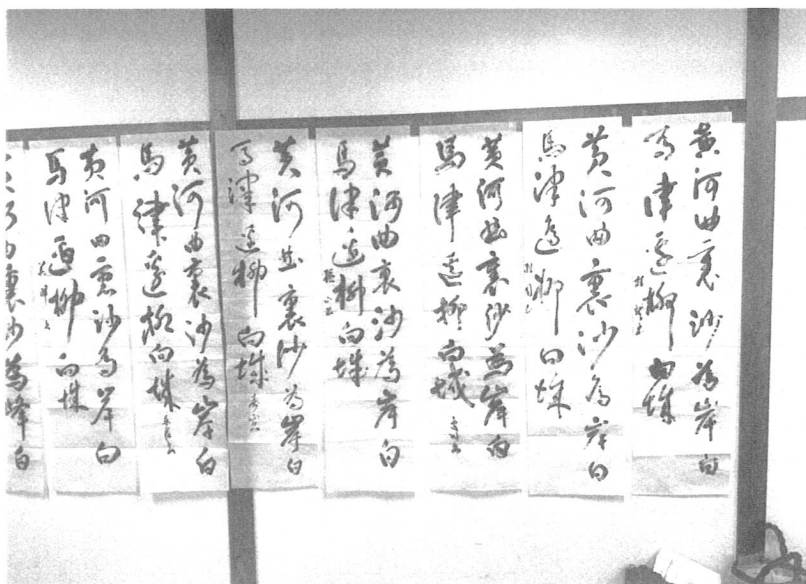
7年
1月
硬筆

校
名



氏
名

段
級



お知らせ

◎第61回高南台地総合美術展

無鑑査 森本 瓊象
" 熊谷 晩象
褒状 堀内 仁峰

◎第35回中岡迂山書展

入選者追加発表
入選

大石 千施
水田 紅子
岡林 邦心
西山 極山

◎第70回安芸市美術展覧会

無鑑査 福原 暁雲
" (故) 大黒 仙雲
入選 岩崎 竹山

条幅参考、あとがき当番表（決定）

令和6・7年

提出期日	当番		あとがき当番
令和6年1月審査会日	塚地	隅田(会計)	梅川
令和6年2月審査会日	野島	松下	編集室
令和6年3月審査会日	岡崎	野中	塚地
令和6年4月審査会日	森光	堅田	廣末
令和6年5月審査会日	廣末	市原	梅川
令和6年6月審査会日	武内	岡林	隅田(会計)
令和6年7月審査会日	中平	岡本(志)	福原
令和6年8月審査会日	江西	岡崎	武内
令和6年9月審査会日	梅川	森本(寿)	野島
令和6年10月審査会日	福原	大崎	編集室
令和6年11月審査会日	大八木	石川	編集室
令和6年12月審査会日			森本(瓊)
令和7年1月審査会日	塚地	弘田(賀)	廣末
令和7年2月審査会日	野島	武内	梅川
令和7年3月審査会日	岡崎	岩河	隅田(会計)
令和7年4月審査会日	前田	大崎(花)	福原
令和7年5月審査会日	廣末	大原	武内
令和7年6月審査会日	武内	山下	野島
令和7年7月審査会日	中平	河村	森本(瓊)
令和7年8月審査会日	江西	小川	編集室
令和7年9月審査会日	梅川	深瀬	塚地
令和7年10月審査会日	福原	西山	廣末
令和7年11月審査会日	前田	奥堂	梅川
令和7年12月審査会日			隅田(会計)
補欠		江西	

新年試筆作品について

出来るだけ多くの方の出品をお願いします。

記

締切日 12月22日（日）（審査日当日受付）

出品料 5,000円

※審査会に出席されない場合は、どなたかに預けて下さい。

試筆作品出品票

整理

積 文

姓
号

(多字数は二十文字まで)

※一月（二月号）の送本は一月八日（水）を予定しています。

※新年試筆作品には左の出品票を作品左下に貼って下さい。

◎掲載後、作品をお返ししますが、後に表装される方は、貼り付けずにクリップでとめておいて下さい。

◎姓号と積文は作品横に載せますので、左の出品票は楷書で正しく書いて下さい。

◎紙はなるべく白を使って下さい。（文字がはっきり写ります）

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田巨心

龍跳書道会

龍崎口隣味町

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二二番

龍跳書道会の一員として再出発する私

私はその頃一つの決断をしなければならぬと思っていました。その頃？私は県下にあつた別の書道会に所属して与えられた役割を指示通りに消化しておりました。しかし、他の町に赴任し視野が広まるにつれて外の景色も見えるようになっていました。

特に昭和四十七年東津野村に赴任し加藤白龍先生らと交流するうち龍跳書道会にある「朴なる線の中にキラリと光るものの存在」を知る機会を与えて下さいました。これこそ我がめざす道かも知れない、と思つた程でした。

その頃龍跳書道会の高弟の一人下元六象先生(当時窪川在住)が練習生を募集している事を知りすぐに応募しました。

確か昭和五十二年八月の頃だつたと思います。帰全農場のお弟子さんが大勢いる中、下元先生との面接が始まつたのです。私は緊張中条幅一本も書かされました。何を書いたか全然思い出せません。

これが我が師下元六象先生との出会いです。やがて私は入門を許されてそれから十七年下元塾でひたすら古典の臨書に励むのです。今を去ること半世紀も昔の話です。やがて私も一さいを弟子たちにゆずり一人旅に出なければなりません。どうか龍跳書道会の先輩諸氏、同輩諸君更なるご支援をお願いする次第です。

月例競書課題

部 別	締切日	一月二十日	二月二十日
	締切	縮切	縮切
一般条幅	任	任	任
半紙規定	天清一鴈遠	海闊孤帆遲	
半紙随意	任	任	任
中学三年	人類の幸福	日常の話題	
" 二年	冬季休暇	給食当番	
" 一年	文化交流	少年時代	
小学六年	初日の出	公明正大	
" 五年	うめの花	春を待つ	
" 四年	げんき	川の石	
" 三年	こたつ	だるま	
" 二年	こ	ま	
" 一年	そ	ら	

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 86518857

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)
(幸便搬送の方は干料不要)

Ⓐ	1冊	180円
Ⓑ	2冊~7冊	210円
Ⓒ	8冊~20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 Ⓒ+Ⓐ=610円×月数
 22冊~27冊 Ⓒ+Ⓑ=640円×月数
 28冊~40冊 Ⓒ×2=860円×月数
 50冊の場合 Ⓒ×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌干料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 干料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 曉雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (0887) 2912650

発行所

龍跳書道会

電話 (0887) 2912650

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (088) 4210244